

企画展「ザ・フィンランドデザイン展」の開催結果について

展覧会名	ザ・フィンランドデザイン展 ～自然が宿るライフスタイル～
会 期	令和2年10月10日（土）～11月15日（日） ※休館日：10月26日（月） 開館日数36日間
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
出品点数	294点

1 事業概要

フィンランド同様に自然豊かで、優れた手仕事の残る鳥取県で、四季の変化の激しい自然環境と共存するフィンランドの人々の豊かな生活思想と、温かみと洗練さを兼ね備えたそのデザインの世界に触れていただくことを目的に企画展を開催した。展示紹介したのは、200年にわたりフィンランドという国を支えた染織、およびガラス工芸の分野の名品を中心に、彩りに溢れ、創造性に満ちた各種のデザイン・プロダクツおよび絵画類263点と、31点の関係資料で、フィンランドのタンペレ歴史博物館、コレクション・カッコネン、ヘルシンキ・デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に構成した。コロナ禍の中ではあったが、ヘルシンキからの学芸スタッフ（クーリエ）と特別講演会講師の来日が叶わなかったことを除き、作品の空輸も無事に行われ、ほぼ予定通りに企画展は開催された。

2 開催結果

(1) 展覧会入館者数 10,890人（目標10,000人）

来場者数に関しては目標を上回った。ともに企画展を主催したNHK鳥取放送局の幾度かの特別番組や、地方ニュースと全国ニュースの間の短時間のスポット告知も功を奏したと思われるが、30代から高齢層までの実に幅広い女性の多くが二人連れ以上で来場していた様子から推測するに、やはりもともと女性層の心を掴みやすい内容の企画展であったことが窺われ、それに合わせてその家族も土日等に来場するという相乗効果があったと言えるだろう。山陰では珍しいデザインの企画展、しかも北欧という日本人にとって憧れの地の文化に触れられることへの期待感から、潜在的なデザイン愛好層を刺激し、来場者増につながったと思われる。可愛らしい書体とイラストと合わせて、著名なデザイナーの家具やドレスを広報で使用し、良いものを気軽に楽しめる、親しみ易い展示であることを前面に出したことも効果的に作用したのではないだろうか。

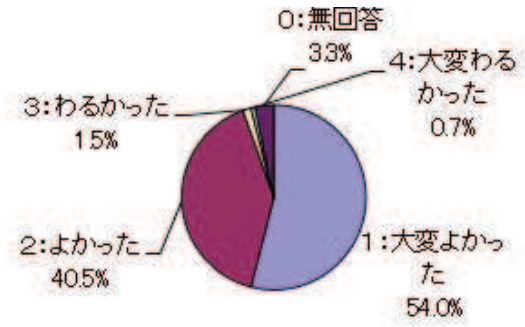
来場者アンケートによれば、回答者の94.5%が「大変よかった」「よかった」と、展覧会内容を評価してくれた。会期中の毎週土曜日に開催した各種イベント（ギャラリートークや映画観賞会、ワークショップ）は各回多くの参加者があり、参加者の満足度も高かったようである。来場者層は、世代でいえば30歳代～70歳代までがほぼ同様の比率で、世代を問わず幅広い層に支持されたことを示していると思われる。

(2) 関連事業参加者数

① 記念レクチャー「フィンランドデザインの魅力」	(10/10)	43名
② 記念講演&ワークショップ「フィンランドの文化に触れる」	(10/17)	62名
③ スペシャルアートシアター「かもめ食堂」	(10/24)	140名
④ 担当学芸員によるギャラリートーク	(10/31)	48名
⑤ ワークショップ作り隊による染色ワークショップ	(11/7)	15名
⑥ 担当学芸員によるアートセミナー	(11/14)	29名

(3) 主な反響 (入館者アンケートから)

- ・トータルでライフスタイルを楽しむ為のデザインを体感できて良かった。
- ・HAM協力とあったので見たことのあるものばかりと思ったがそうでもなく、沢山の展示があり良かった。
- ・今までマリメッコとムーミンのみしか知らなかったフィンランドのデザインやイラスト文化について知ることができ良かった。
- ・説明文はもう少し判りやすく書いていただきたい。
- ・展示にメリハリがなくてぼやけた感じがした。



▼展示会場風景



フィンランドセンター所長によるレクチャーと編み物ワークショップの様子

ワークショップづくり隊によるプリントワークショップの様子



企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.3 何が価値を創造するのか？」の開催結果について

展覧会名 「ミュージアムとの創造的対話vol.3 何が価値を創造するのか？」

会 期 令和2年11月28日(土)～12月27日(日)〔29日間〕

会 場 鳥取県立博物館 2階 第1・第2・第3特別展示室

1 事業概要

ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探るシリーズ企画展の第3回目。今回は、ある個人コレクターのコレクションと、当該コレクション収蔵作家による新旧作の展示を通じて、美術作品における「価値」とは何か、それはいつどのように作られるのかについて考察を促すことを試みた。

2 開催結果

(1) 展覧会入場者数 1,988人 (目標 2,400人)

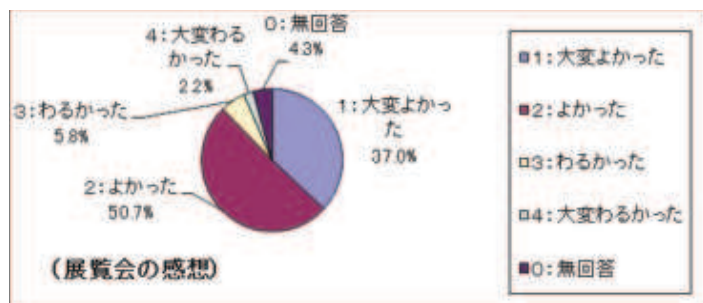
(2) 関連事業参加者数

内 容	参加者数
① オープニング・アーティスト・トーク 講師: 渡辺英司、大塚泰子、藤原勇輝、竹川宜彰、岡田有美子(11/27)	25人
② ゲスト・トーク「文化芸術と価値創造について」 講師: 池田修(12/5)	15人
③ レクチャー「作家亡き後に作品を再設置すること」 講師: 尾崎信一郎(12/13)	20人
④ 特別講演会「コレクションとアーカイブー松澤宥・村岡三郎・原口典之を例に」 講師: 松本透(12/19)	27人
⑤ 学芸員と巡るギャラリー・ツアー (12/27 午前: 博物館、午後: サテライト会場2カ所)	55人(延)
⑥ スペシャル・イベント 原口典之×木野彩子「Oil, Water and Woman」(12/28)	56人

(3) 結果・反響 (来館者アンケートから: 回答数 138人)

① 展覧会満足度

「大変よかった」「よかった」とする意見が合計87.7%と好評だった。



② 感想 (主なもの)

・美しい作品も良いが、違った目線で見ればこれもまた芸術なのかと再発見できた。頭も使って、考えてわからない所も沢山あるけど何か面白い作品がたくさんあった。

・普段現代美術に触れる機会が皆無なのでとても興味深かった。

・作品解説等もなく非常に分かりづらい、見る順番さえも分からない。作品の番号がついていたらよかった。

・今までにない展示方法がされていて、新鮮な印象を受けました。

・毎回このシリーズをとでも楽しく鑑賞させていただいています。このシリーズが博物館の中でも一番好きです。鳥取県でこのようなアートが見られてうれしいです。

まとめ: 今回は倉吉市出身の個人コレクターのコレクションとあわせて収蔵アーティストの新旧作を博物館および倉吉市内のサテライト会場に展示し、作品や空間の特徴・属性にあわせて作品を設置することで、現代美術作品独特の鑑賞体験を様々な展開させることを試みた。博物館外での展示は無料だったこともあり、何度も足を運ぶ方々も見られ、身近に現代アートに触れる機会を提供したが、各会場に距離があったため、周遊できなかったという声も一部聴かれた。コロナ禍の影響を鑑み、来館できない方々へのアプローチとして、オンラインでレクチャーや会場の映像のオンライ公開を実施。また、高校生の国語の授業の一環として展覧会が活用されるなど、今後総合的な学習への展開の可能性を感じた。

【写真】

屋外展示 (当館玄関前)



倉吉サテライト会場展示風景(Aコレクションストレージ)



スペシャル・イベント 木野彩子によるパフォーマンス



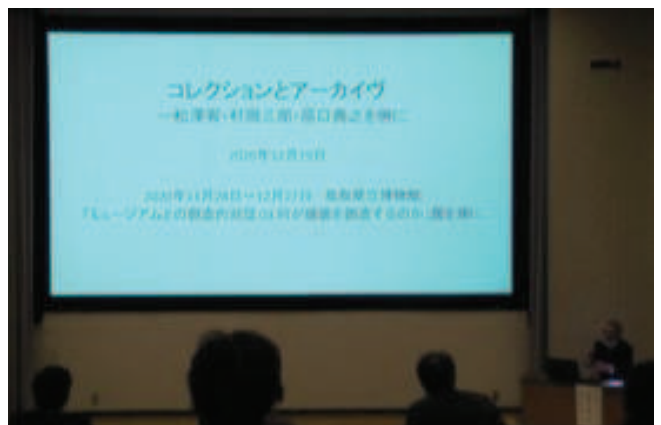
倉吉サテライト会場でのギャラリートーク



ゲスト・トーク (講師: BankART1929 代表 池田修氏)



特別講演会 (講師: 松本透長野県信濃美術館館長)



レクチャー (講師: 尾崎信一郎 鳥取県立博物館副館長)



スペシャル・アーティスト・トーク



企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」の開催結果について

令和 3年 3月 28日
博 物 館

展覧会名 「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」 会 期 令和3年2月11日(木・祝)～3月21日(日)〔34日間／月曜日休館〕 会 場 鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室

1 事業概要

生誕110年を迎える岡本太郎(1911-96年)に焦点を当て、その思想や作品の素地を培った戦前のパリ時代と、多岐にわたる活動を繰り広げた帰国後の東京での動向を照応させて展覧し、パリで育んだ前衛芸術家との交友と戦後日本において主導した芸術運動の関係を検証しようとするものである。これまで必ずしも十分に解明されていなかったオーガナイザーとしての岡本の役割に着目し、1950年代に企画・開催されたいくつかの展覧会に実際に出品された作品および出品作家による同時期の作品を通じて、岡本が捉えた当時最前衛であった美術動向の様相を明らかにする。

2 開催結果

(1)企画展入場者数 10,555人(目標 5,000人)

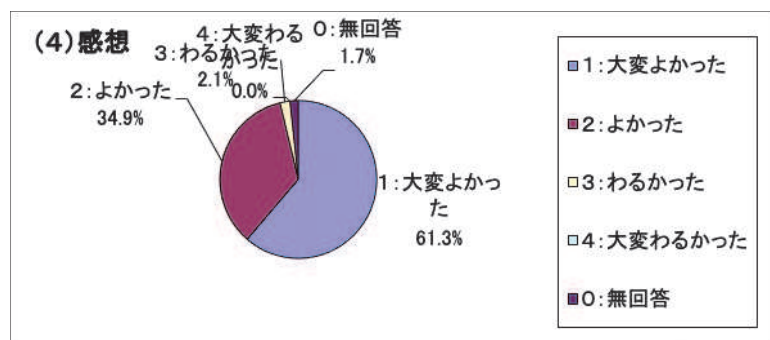
(2)関連行事参加者数

内 容	参加者数
特別講演会「パリ時代の岡本太郎」	(2/11) 56名
担当学芸員によるギャラリートークⅠ	(2/13) 52名
スペシャルアートシアターⅠ「宇宙人東京に現わる」	(2/20) 62名
岡本太郎関連短編映像上映会	(2/27) 115名
アートセミナー「岡本太郎と1950年代」	(3/6) 42名
担当学芸員によるギャラリートークⅡ	(3/13) 63名
スペシャルアートシアターⅡ「ドキュメンタリー映画 岡本太郎の沖縄」	(3/20) 58名

(3)結果・反響(来館者アンケートから:回答数 138人)

①展覧会満足度

「大変よかった」「よかった」とする意見が合計96.2%と好評だった。



②感想(主なもの)

- ・コロナ禍で美術に飢えていたため、見たかったものに触れてうれしく思う。
- ・命がみなぎっている感じがした。コロナで世間に不安感が広がっている中、生きていることの喜びが感じられる展示だった。
- ・岡本太郎だけでなく、氏の作に共鳴するような国内外の作家の作品そして写真に終わる構成が良かった。
- ・展示作品数の多さと密度の濃さ、影響を受けた(与えた)周辺の芸術家の作品

を多数展示しているところが良かった。

- ・岡本太郎の作品は特に好きではなかったが、複数作品が集まっていると雰囲気のでて良かった。
- ・何度見に来ても新しい発見がある。
- ・一部でも写真撮影を可能にして欲しかった。
- ・説明、解説等の方法(文字の大きさ、文章の長さ等)が不親切でわかりにくかった。バリアフリー、障がい者への配慮が必要である。

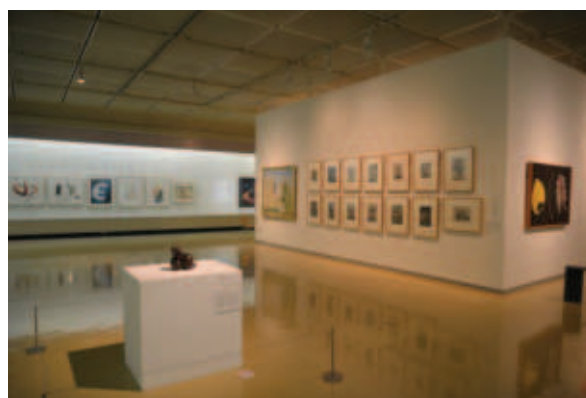
まとめ：本展覧会は当初、読売新聞社美術館連絡協議会による全国3館の巡回展の枠組みで「クルト・セリグマンと岡本太郎展」として準備を進めていたが、コロナ禍により海外からの作品借用が困難となり、令和2年4月に巡回展を解体した。当館では日本海テレビジョンと実行委員会を結成して単館開催の企画展として再編成し、美術館連絡協議会の主催と当初の巡回展の企画館であった川崎市岡本太郎美術館による企画協力を受けるかたちで実施した。展覧会の再編成にあたり、開幕まで10か月を切っている状態で各館に作品の借用依頼を行ったが、コロナ禍で全国的に展覧会の中止等が重なったタイミングであったことが逆に幸いし、各館のミュージアムピース級の作品を展示する機会に恵まれた。

郷土ゆかりではないビッグネームの作家の回顧展を単館開催の企画展として行うこと自体、ややイレギュラーな事態ではあったが、岡本太郎と同時代の作家による関連作品をあわせて展観したことで、結果として時代の様相を体感していただくことの出来る展覧会となった。

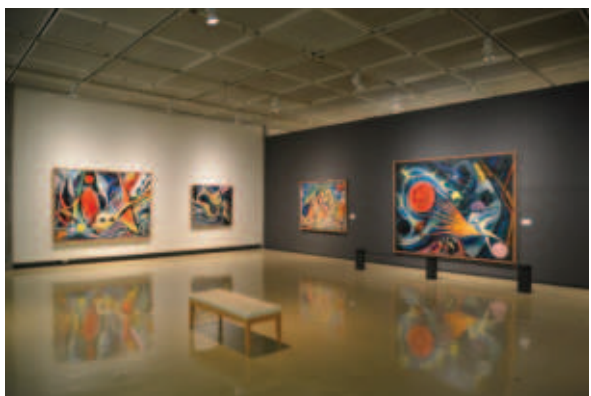
【写真】



会場入り口の様子 岡本の初期代表作を展示



会場内の様子 セリグマンの作品を集約的に展示



岡本の大作を展示したコーナー



岡本と同時代の作家たちの作品を展示



ギャラリートークの様子



来場者1万人セレモニーでのインタビューの様子

令和3年度企画展「QooDZILLA! クジラとイルカの世界」開催要項

- 1 趣旨：クジラ類は、陸上から海中生活への高度な適応を果たした哺乳類である。大型クジラは巨大恐竜をもしのぐ体サイズを誇り、イルカたちの愛くるしさは人気の的となっている。しかし、彼らの魅力はそれだけではない。

本展覧会では、クジラ類の進化や水中生活への適応の様子を概観するとともに、形態や生態の多様性、とくに採餌や繁殖行動など、野生動物としてのなまなましい姿にスポットをあてて紹介する。そして鳥取県におけるクジラ類の漂着記録等とともに、漂着鯨類を調査することの意義についても考える。

- 2 会期：令和3年7月17日（土）～8月29日（日）：44日間（予定）
- 3 会場：鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
- 4 主催：クジラ展実行委員会（鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社）・読売新聞社
- 5 協賛：日本通運、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、TiC 鳥取県情報センター
- 6 借用先・協力団体等：（一財）日本鯨類研究所、大阪市立自然史博物館、近畿大学農学部海棲哺乳類学研究室、（公財）動物臨床医学研究所、国立科学博物館、島根県立しまね海洋館アクアス、下関市立しものせき水族館「海響館」、太地町立くじらの博物館、東京海洋大学海洋科学部鯨類学研究室、東京海洋大学ミュージアム機構マリンサイエンスミュージアム、鳥取県立鳥取西高等学校、鳥羽水族館、長岡市寺泊水族博物館、福井県立恐竜博物館

7 展示内容

第1章 クジラって、なんですか？

◎クジラは哺乳類です：シカやウシの“いとこ”／おっぱいと毛／尾ビレの向き

◎水中でくらす：流線形の体／ヒレになった前あし／退化した後あし／頭上にある鼻の穴／短い首

◎2つのグループ：「ハクジラ」と「ヒゲクジラ」

第2章 くじらのくらし（1）：たべる

◎ハクジラの食事：同形歯／食性と歯・口の形／吸い込み採餌と舌骨／エコーロケーション

◎ヒゲクジラの食事：小さなエサをこしとる／3タイプの食べ方／頭骨とクジラヒゲの形状

◎食べたらどうなる？：奇妙な胃袋／超ながい腸／排泄物

第3章 くじらのくらし（2）：むれる たたかう 恋をする

◎むれるクジラ：複雑なシャチの群れ／たよりになる「おばあちゃん」／ふれあいと協力

◎恋するクジラ：歯でたたかう／歯をくらべる／交尾行動

第4章 クジラのつくり方：四つ足動物がクジラになるまで

◎むかしむかし、クジラには「後あし」がありました：パキケタスの耳と足／仙骨、鼻の穴の進化

◎そして、小さな骨が残りました：現生クジラの寛骨と大腿骨／「腹ビレ」のあるイルカ

第5章 ながれつくクジラ

◎とっとりにながれついたクジラたち：オウギハクジラ／ツノシマクジラ／とっとりの漂着記録

◎ながれついたクジラを調べる：胃内容物、人工物

自然展示室

■「自然の窓」コーナー

- ・令和元年 12 月 21 日～令和 2 年 6 月 21 日
身近でふしぎな生きもの変形菌（清末）
- ・令和 2 年 6 月 23 日～令和 2 年 10 月 12 日
海の名脇役 エイ（一澤）
- ・令和 2 年 10 月 13 日～令和 3 年 2 月 11 日
『三葉虫』、展示中！（田邊）
- ・令和 3 年 2 月 12 日～（展示中）
チョウの翅が輝く秘密（鶴）

■「身近な植物」コーナー

- ・令和 2 年 3 月 31 日～令和 2 年 11 月 6 日
オオイヌノフグリの仲間（清末）
- ・令和 2 年 11 月 7 日～令和 2 年 12 月 25 日
クリスマスカラーの植物たち（清末）
- ・令和 2 年 12 月 26 日～令和 3 年 3 月 29 日
ウシにまつわる植物（清末）
- ・令和 3 年 3 月 30 日～（展示中）
いちごのなかま（清末）

■地学常設展示の一部展示替え

- ・令和 2 年 8 月 29 日～（常設）
「三朝成（なる）植物化石群」の展示
- ・令和 2 年 11 月 14 日～（常設）
「鳥取県にあった鉱山」の展示

■その他

- ・新型コロナウイルス拡散防止のための自粛期間（令和 2 年 4 月 15 日～5 月 22 日）、
当館 Facebook、HP を使って、緊急特別連載として『おうちで自然観察』を発信。

※『おうちで自然観察』アーカイブ：

<https://www.pref.tottori.lg.jp/ouchideshizenkansatu/>

- ・新型コロナウイルス拡散防止のため体験型展示（『みて・さわって・調べよう！』
コーナーなど）を中止していたが、8 月 1 日から『食卓の魚』の展示をはじめた。
今後、徐々に新しい展示様式に変更していく予定である。

歴史・民俗展示室

令和2,3年度（令和3年6月18日時点）

■「歴史の窓」

- ・令和3年1月4日（月）～2月28日（日）（福代）
絵葉書で見る鳥取2021—新収蔵資料から—
- ・令和3年3月2日（火）～5月9日（日）（鳥取県埋蔵文化財センター）
青谷古代山陰道と鹿野戦国クシナ城
- ・令和3年5月11日（火）～7月11日（日）（福代）
新指定文化財 ため池における魚伏籠漁
- ・令和3年7月13日（火）～9月12日（日）（来見田）

- ・令和3年9月14日（火）～11月14日（日）（大嶋）

- ・令和3年11月16日（火）～12月26日（日）（来見田）

- ・令和4年1月4日（火）～3月6日（日）（小山）

- ・令和4年3月8日（火）～5月8日（日）（山本）

常設展の展示概要(美術部門)

■1階美術展示室

令和2年度	テーマ
4月29日(水)～6月21日(日) コレクション展Ⅰ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:は行の美術家(上)
6月24日(水)～8月23日(日) コレクション展Ⅱ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:は行の美術家(下)
8月26日(水)～10月11日(日) コレクション展Ⅲ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:ま行以降の美術家
10月14日(水)～12月6日(日) コレクション展Ⅳ	鳥取県ミュージアムネットワーク共同企画 「生誕100年 杵島隆展」(前期)
12月9日(水)～1月31日(日) コレクション展Ⅴ	鳥取県ミュージアムネットワーク共同企画 「生誕100年 杵島隆展」(後期)
2月3日(水)～3月28日(日) コレクション展Ⅵ	新収蔵品展

令和3年度

※臨時収蔵庫として利用するために当面休室

■2階近代美術展示室(第3特別展示室)

令和2年度	テーマ
4月18日(土)～6月7日(日) コレクション展	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近現代編:な行・は行の美術家
7月18日(土)～8月30日(日) 夏休み企画 シリーズ:美術をめぐる場をつくるⅡ	高田光治 森からの贈りもの
2021年2月20日(土)～3月28日(日) コレクション展	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近現代編:ま行以降の美術家

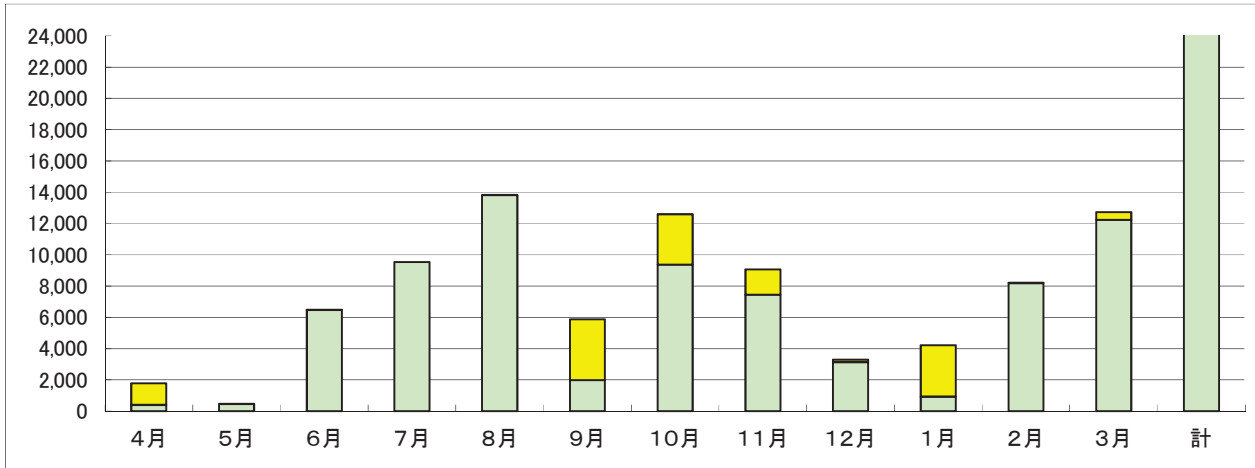
※本年度の各コレクション展(美術家大辞典)では、昨年度と同様、作家や作品についての情報提供(協力)を呼びかける来場者アンケート「あなたも一緒に『美術家大辞典』をつくりませんか」を実施中。

令和3年度

令和3年度	テーマ
4月17日(土)～5月12日(水) テーマ展示Ⅰ	ならべてくらべて —近世絵画・近現代日本画を中心に—
7月17日(土)～8月29日(日) 夏休み企画 シリーズ:美術をめぐる場をつくるⅢ	瀧澤潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション
11月27日(土)～2022年1月10日(月・祝) テーマ展示Ⅱ	現在調整中

令和2年度 博物館入館者の状況

<令和3年3月31日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参考R元	
来館者	常設展(A)	399	449	2,874	4,340	6,901	1,520	2,183	2,638	1,149	850	3,387	5,947	32,637	31,237
	企画展(B)			3,385	4,878	6,757		6,446	4,633	1,799		4,470	6,085	38,453	23,273
	普及活動(館内)(C)	0	0	160	293	158	437	727	159	180	71	313	180	2,678	2,927
	研究相談(D)	10	12	40	18	8	32	21	16	13	14	15	16	215	351
	小計	409	461	6,459	9,529	13,824	1,989	9,377	7,446	3,141	935	8,185	12,228	73,983	57,788
	県展・ジュニア県展(E)						3,717				2,053			5,770	6,828
	貸館利用者数(F)	1,371	0	20	0	0	169	3,217	1,616	146	1,223	6	506	8,274	8,590
	ミューゼ利用者数	753	1,336	1,577	1,518	1,420	896	1,301	1,179	674	392	980		12,026	14,312
	総来館者数	2,533	1,797	8,056	11,047	15,244	6,771	13,895	10,241	3,961	4,603	9,171	12,734	100,053	87,518

<企画展別入館者数>

令和2年度	
企画展名	入館者数(人)
輝いていた60's	4,565
こんにちは変形菌!	10,455
ザ・フィンランドデザイン展	10,890
ミュージアムとの創造的対話03	1,988
生誕110年 岡本太郎	10,555
計	38,453

令和元年度	
企画展名	入館者数(人)
ニューヨーク・アートシーン展	6,226
手塚治虫のメッセージ	8,841
黄檗展	3,933
塩谷定好展	2,498
國領経郎展	1,775
計	23,273

<主な貸館による入館者数>

令和2年度	
企画展名	入館者数(人)
長くつ下のビッピの世界展	1,371
第64回鳥取県美術展覧会	3,717
くらしにみる昭和の時代鳥取展	4,711
第18回鳥取県ジュニア美術展覧会	2,053
鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展	639
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	584
第44回鳥取書道連盟展	469
計	13,544

令和元年度	
企画展名	入館者数(人)
倉吉絋展	563
第58回鳥取市民美術展	2,477
鳥取県写真家連盟展第21回合同写真展	672
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	979
鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展	1,775
第43回鳥取書道連盟展	505
計	6,971

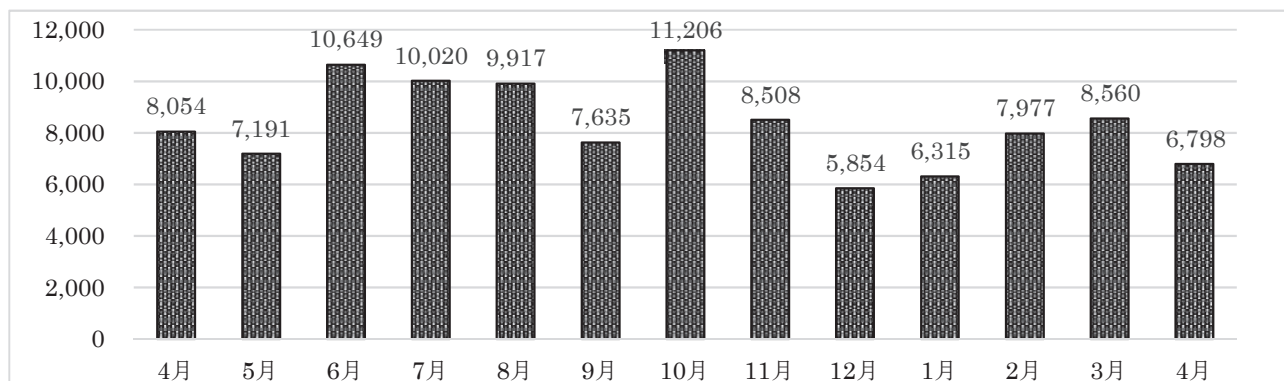
鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容などをまとめている。収蔵資料データベースは、令和3年3月1日から、県立図書館・県立公文書館・鳥取県埋蔵文化財センターとの合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」にデータを移管して公開している。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》 R2年4月～R3年4月

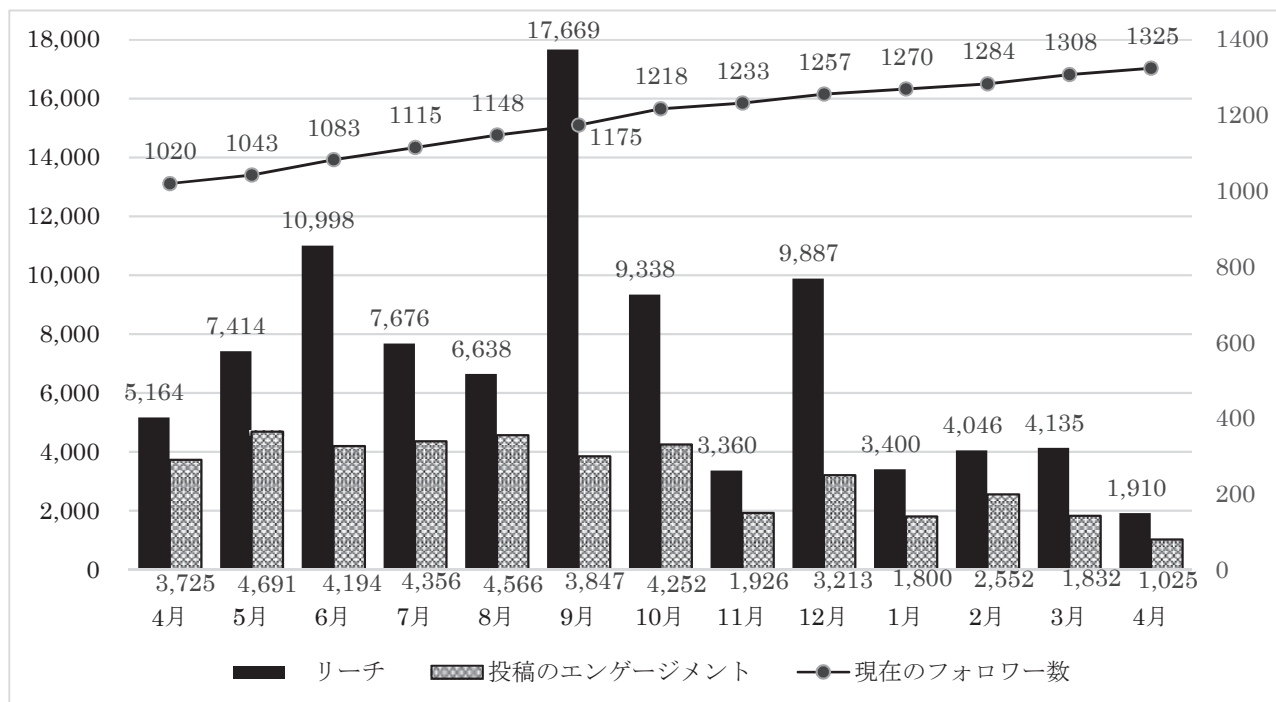
※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebook から直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。



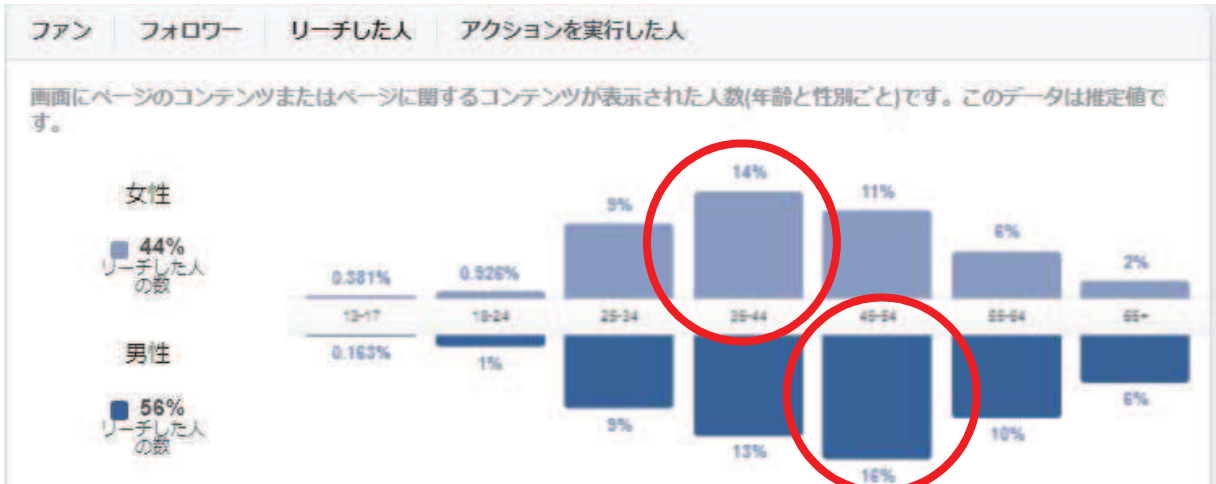
2. SNS（Facebook）による広報

平成28年9月より鳥取県立博物館のFacebookの運用を開始。投稿内容は、企画展情報や普及講座の参加募集・実施状況の他、マスコミへ資料提供など、博物館利用者へ情報を拡散したいものとしている。また、令和2年5月8日より美術部門学芸チームがInstagramの運用を開始した。

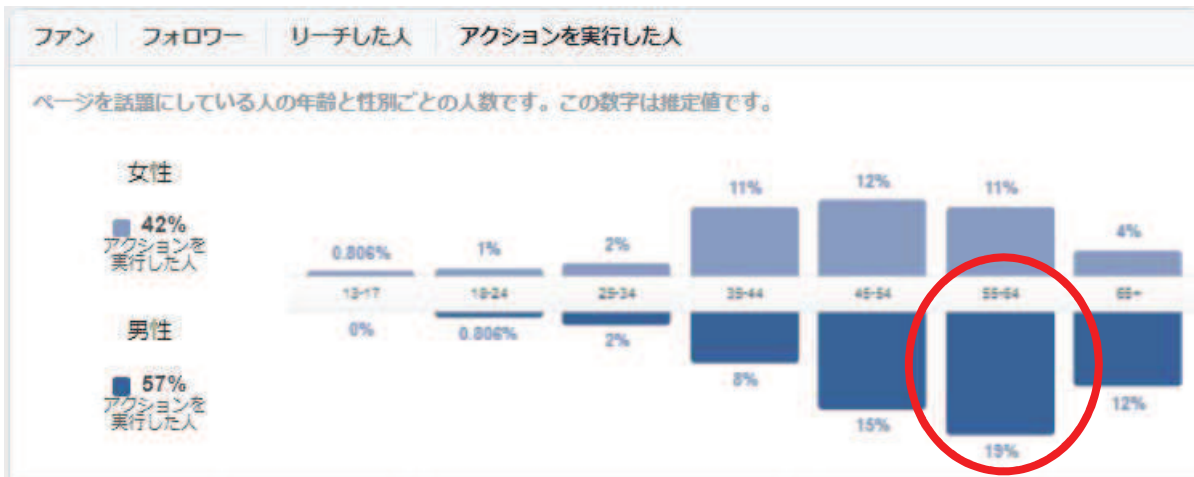
《鳥取県立博物館 Facebook ページのアクセス数の推移》



■ 投稿を見た人数（リーチ数）（世代ごとの割合）



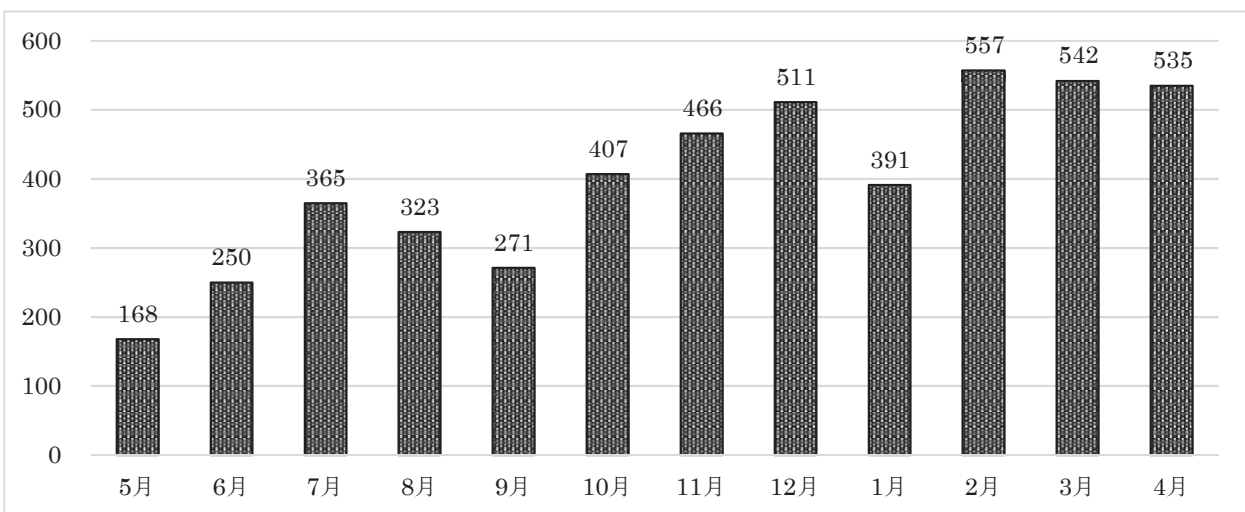
■ 投稿のエンゲージメント（投稿に「いいね」や「シェア」などした人）（世代ごとの割合）



2-2. SNS (Instagram) による広報

フォロワー数 612 (令和3年5月25日時点)

《美術部門学芸チーム Instagram ページのアクセス数の推移》



令和2年度普及活動の実施状況について

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
移動博物館	計5件					825	
	自然・人文	計1件					0
		とつとりの自然と歴史 in イオンモール日吉津	イオンモール日吉津	10月17日(土)～ 10月18日(日)		集計できず	
	自然	計3件					475
		鳥取県の化石	鳥取市立明治小学校	11月9日(月)～ 11月13日(金)		42	
		鳥取県の化石	米子市立崎津小学校	11月16日(月)～ 11月16日(金)		153	
		鳥取県の化石	鳥取市立気高中学校	11月30日(月)～ 12月4日(金)		280	
人文	計1件					350	
	昭和の広告	倉吉西高等学校	11月18日(水)～ 12月8日(火)		350		
移動美術館	計1件					406	
	美術	異世界へのまなざし	若桜郷土文化の里たくみの館	9月12日(土)～ 10月18日(日)		406	
学芸員派遣 (教職員向け 講師・指導助 言)	計4件					42	
	自然	計4件					42
		湿原環境保全の現地検討会	菅野湿原(鳥取市国府町)・唐川湿原(岩美町)	10月14日(水)		6	
		第5回千代川の今後を考える学識懇談会	鳥取県立博物館	1月13日(水)		15	
		絶滅危惧植物現地確認調査	鳥取市松上神社、松上天満宮、河内神社など	2月9日(火)		3	
	浚渫作業で埋没したハマナス群落及びエコトーンの件復保全作業の検討会	米子市和田海岸	3月1日(月)		18		
学芸員派遣	計69件(うち8件中止)					2,179	
	自然	計30件(うち3件中止)					684
		絶滅危惧種生育環境及び保全に係わる調査	智頭町穂見山	5月12日(火)		6	
		青谷学(地学)	県立青谷高等学校	5月27日(水)		18	
		総合的な学習「わたしの木」	鳥取市立岩倉小学校教室・岩倉森	6月8日(月)		81	
		青谷学(地学)	県立青谷高等学校	6月10日(水)		18	
		鳥取で楽しもう ～地域社会で豊かに暮らそう～(化石に関する講義と化石レプリカ作成)	県立鳥取養護学校	6月22日(月)		11	
		一般地質学Ⅲ	鳥取大学(オンライン授業)	7月28日(火)		30	
		石ラボ♪石を拾おう、石を知ろう	鳥取砂丘こどもの国	8月8日(土)		27	
		青谷学(生物学)	県立青谷高等学校	8月26日(水)		中止	
		こん虫のかんさつ	鳥取市立大正小学校	9月8日(火)		28	
		青谷学(生物学)	県立青谷高等学校	9月30日(水)		19	
		青谷学(生物学)	県立青谷高等学校	10月14日(水)		18	
		鳥取・島根自然観察指導員交流会	南部町母塚山～要害山	10月24日(土)		19	
		万葉と神話の庭散策講座	因幡万葉歴史館	10月31日(土)		10	
		落ち葉の中のモンスターをさがそう	とつとり出合いの森	11月8日(日)		10	
		ヒトの体のつくりと運動(動物の体のつくりとしくみ)	鳥取市立大正小学校	11月19日(木)		25	
		大地のつくりと変化	米子市立崎津小学校	11月20日(金)		29	
		鳥取県RDB改訂作業維管束植物部会打合せ	中部総合事務所	11月22日(日)		13	
		植物の陸上進出	鳥取大学	11月24日(火)		70	
		大地のつくりと変化(鳥取砂丘での野外観察)	鳥取砂丘	11月25日(水)		23	
		とつとり生物多様性推進センター連絡協議会	鳥取県庁第2庁舎9階第21会議室	11月26日(木)		12	
		地質時代の生物たち ―古生代、中生代、新生代の化石の変遷―	県立倉吉農業高校	12月3日(木)		15	
		明治地区とその周辺の植物講座	鳥取市明治地区公民館	12月6日(日)		28	
		環境を守るために私たちにできること(総合的な学習の時間)	米子市立加茂小学校	12月17日(木)		44	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
(学芸員派遣の続き)	(自然の続き)	湖山池の野鳥の観察	湖山池情報プラザ・青島	1月10日(日)		中止	
		見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	1月17日(日)		21	
		土の中の生物や微生物のはたらき	鳥取市立西中学校	1月19日(火)		中止	
		明治地区とその周辺の鳥など講座	鳥取市明治地区公民館	1月31日(日)		22	
		バードウォッチングおよび身近な鳥についての講座	湖山池情報プラザ	2月9日(火)		23	
		のんのんばあ自然観察会	JR境港駅～砲台跡	2月11日(木)		10	
		土の中の微生物	鳥取市立気高中学校	2月26日(金)		54	
		人文	計12件(うち3件中止)				
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月4日(土)		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月2日(土)		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月6日(土)		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月4日(土)		20	
		古文書解読ボランティア	博物館閲覧室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月1日(土)		24	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月5日(土)		24	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月3日(土)		33	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月7日(土)		32	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月5日(土)		44	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月9日(土)		35	
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月6日(土)		31		
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月6日(土)		32		
美術	計27件(うち2件中止)					1,220	
	*コレクション宅配便	鳥取短期大学	5月28日(木)		60		
	学内の作品を活用した対話型鑑賞とファンリテーション	鳥取短期大学	6月2日(火)		40		
	《ワークショップ》造形遊び	浦安小学校	6月11日(木)		40		
	《ワークショップ》紙コップ10,000個でArt	中ノ郷地区公民館	8月7日(金)		27		
	学芸員派遣	余子公民館	8月19日(水)		中止		
	*バス招待事業(郡家西小学校5年)	博物館講堂,博物館展示室	9月4日(金)	55	55		
	*バス招待事業(郡家西小学校6年)	博物館講堂,博物館展示室	9月9日(水)	48	48		
	*バス招待事業(住吉小学校)	博物館講堂,博物館展示室	9月11日(金)	113	113		
	*バス招待事業(賀露小学校5年)	博物館講堂,博物館展示室	9月30日(水)	54	54		
	*バス招待事業(明道小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月9日(金)	55	55		
	*コレクション宅配便	大山中学校	10月14日(水)	43	46		
	*バス招待事業(青谷小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月19日(月)	31	30		
	*バス招待事業(名和小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月21日(水)	58	58		
	*バス招待事業(浦安小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月22日(木)	35	35		
	学芸員派遣	若葉台小学校	10月23日(金)		105		
	*バス招待事業(湖山西小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月29日(木)	43	44		
	*バス招待事業(賀露小学校3年)	博物館講堂,博物館展示室	10月30日(金)	60	61		
	*バス招待事業(赤碕小学校)	博物館講堂,博物館展示室	10月30日(金)	46	46		
	学芸員派遣	鳥取養護学校	11月11日(水)		中止		
	*バス招待事業(国府東小学校)	博物館講堂,博物館展示室	11月20日(金)	15	15		
	*バス招待事業(浦安小学校)	博物館講堂,博物館展示室	11月26日(木)	48	48		
	*コレクション宅配便	境港市立第二中学校	12月2日(水)	79	79		
	アーティストの世界にふれてみよう	青谷小学校	12月07日(月)		38		
	アーティストの世界にふれてみよう	浦安小学校	12月10日(木)		32		
	*コレクション宅配便	鳥取短期大学	12月15日(火)		51		
	《ワークショップ》ブラックライト	浦安小学校	2月3日(水)		31		
	《ワークショップ》紙コップ10,000個でArt	北栄人権文化センター	2月27日(土)		9		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
教員の日	計1件(うち1件中止)					0
	教員のための博物館の日 2020 in 鳥取県立博物館		博物館講堂,博物館会議室,博物館展示室	8月4日(火)		中止
普及講座	計93件(うち26件中止)					2,334
	自然	計17件(うち6件中止)				427
		《天体観望会》春の星を見る会	多目的広場	4月26日(日)		中止
		《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 21世紀の森	鳥取市河原町「21世紀の森」	5月10日(日)	30	中止
		《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子城跡(湊山公園)	5月31日(日)	20	中止
		《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫たち～	久松公園	6月7日(日)	20	中止
		《野外観察会》ふしぎな生きものの変形菌観察会	博物館会議室・博物館周辺	6月21日(日)	12	13
		《自然講座》地層をつくろう!	博物館会議室	7月23日(木)	20	12
		《天体観望会》夏の星を見る会	多目的広場	7月24日(金)		中止
		《講演会》「ときめく変形菌」「単細胞の賢さを探る」	博物館講堂	7月25日(土)	125	125
		《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	7月26日(日)	20	22
		《トークライブ》「世界は変形菌でいっぱいだ フシギでカワイイ変形菌のお話」	博物館講堂	8月2日(日)	110	100
		《自然講座》標本を調べる会	博物館会議室	8月16日(日)	0	中止
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山町博労座	10月10日(土)	20	26
		《野外観察会》川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	10月25日(日)	10	8
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	10月31日(土)	20	14
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	11月29日(日)	20	14
		《講演会》ザトウムシが証す中国山地の生物地理	博物館講堂	12月5日(土)	90	80
	《自然講座》化石のスケッチ講座	博物館会議室	12月20日(日)	10	13	
	人文	計31件(うち6件中止)				511
		《歴史講座》※池田光仲墓所の成立について	博物館会議室	4月11日(土)	20	中止
		《歴史講座》探訪 因幡の古墳―湖山池周辺の古墳を歩く―	鳥取市内	5月17日(日)	20	中止
		《歴史講座》昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座	博物館講堂,博物館会議室	6月7日(日)	30	20
		《歴史講座》※市町村における公文書管理の現状と課題	博物館講堂	6月13日(土)	20	15
		《講演会》鳥取県のオリンピック―陸上競技選手を中心に―	博物館講堂	6月14日(日)	78	65
		《講演会》オリンピックがくれたもの	博物館講堂	6月21日(日)	78	20
		《歴史講座》60年代の鳥取市街地をぶらり～昔の地図と写真でまちあるき～	鳥取市内	6月28日(日)	15	15
		《歴史講座》昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座	博物館会議室	7月5日(日)	30	25
		《歴史講座》※因幡神職による神葬祭運動―弘化・嘉永期を中心に―	博物館会議室	7月11日(土)	20	13
		《歴史講座》漆塗り体験講座	博物館会議室	7月12日(日)	20	10
		《歴史講座》めざせ!とっとり戦国博士 in 博物館	博物館会議室	7月19日(日)	12	8
		《歴史講座》※中世因幡国と広元流大江氏	博物館会議室	8月8日(土)	20	中止
		《歴史講座》昔の屏風の下からお宝をさがそう!	博物館会議室	8月9日(日)	20	中止
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会		博物館展示室	8月23日(日)		中止	
《歴史講座》※尼子勝久発給文書・奉行人連署状からみた再興戦		博物館会議室	10月10日(土)	20	13	
《講演会》日本歴史における後醍醐天皇の役割	博物館講堂	10月18日(日)	120	67		
《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく―私部城で考える因幡の中世―	八頭町	11月8日(日)	20	20		
《歴史講座》※佐治郷司・地頭職を巡る佐治氏・曳田氏の相論について―国立歴史民俗博物館所蔵「弁官補任」紙背文書の再考―(仮)	博物館会議室	11月14日(土)	20	20		
《歴史講座》伯耆往来をあるく(下市～御来屋)	大山町内	11月29日(日)	20	17		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績		
(普及講座の 続き)	(人文 の続 き)	《歴史講座》※昭和22年昭和天皇巡幸時 鳥取駅群衆事故の発生要因	博物館会議室	12月12日(土)	20	13		
		《歴史講座》親子で中国茶と煎茶を楽しむ 会	博物館会議室	12月13日(日)	20	11		
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月20日(日)		25		
		《歴史講座》※鳥取天徳寺と「湯所晩鐘」	博物館会議室	1月16日(土)	20	16		
		《歴史講座》古代の鏡を観察してみよう	博物館会議室・常設展示室	1月24日(日)	8	10		
		《講演会》※幕末・明治の動乱ー京都府 知事北垣国道と鳥取人脈ー	博物館講堂	2月13日(土)	100	中止		
		《歴史講座》戦国時代の古文書解読ー毛 利編ー	博物館会議室	2月21日(日)	20	20		
		《歴史講座》戦国時代の古文書解読ー尼 子編ー	博物館会議室	2月28日(日)	20	20		
		《歴史講座》※学館御日記に見る藩校尚 徳館	博物館会議室	3月13日(土)		15		
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月13日(土)	20	16		
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月20日(土)	20	17		
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(御来屋～ 大山口)	大山町内	3月21日(日)	20	20		
		美術	計55件(うち14件中止)					1,396
				《アートシアター》「若沖と江戸絵画ーどう ぶつたちの生きる力とユーモア」	博物館講堂	4月11日(土)	70	中止
		《ギャラリートーク》美術家大辞典 近世以 前編・な行	博物館展示室	4月18日(土)		中止		
		《ワークショップ》らくがきばんざい！ 春編	博物館前庭	4月25日(土)		中止		
		《スペシャルワークショップ》らくがきばん ざい！リズムばんざい！	博物館前庭	5月2日(土)		中止		
		《ギャラリートーク》美術家大辞典 近現代 編	博物館展示室	5月9日(土)		中止		
		《アートシアター》「ファブリックの女王」	博物館講堂	5月16日(土)	70	中止		
		《ワークショップ》おでかけ大辞典・新米学 芸員と街ぶら-Part2	鳥取市内	5月23日(土)	20	中止		
		《スペシャルアートレクチャー》『“伝える”こ とは“きく”こと』～わかろうとする感性を磨 こう～	博物館講堂	5月30日(土)	70	中止		
		《アートシアター》「ヨーゼフ・ボイスは挑発 する」	博物館講堂	6月6日(土)	50	9		
		《アートシアター》「ヨーゼフ・ボイスは挑発 する」	博物館講堂	6月13日(土)	50	8		
		《アートシアター》「匠の世界シリーズ」	博物館講堂	6月20日(土)	50	8		
		《ワークショップ》ワークショップつくり隊公 開会議	博物館会議室,博物館講堂	6月27日(土)	20	15		
		《アートシアター》若沖と江戸絵画 どうぶ つたちの生きる力とユーモア	博物館講堂	7月4日(土)	50	9		
		《ギャラリートーク》美術家大辞典 近世以 前編	博物館展示室	7月11日(土)		7		
		《スペシャルワークショップ》「みつげよう！ 森からの贈りもの」	博物館会議室	7月18日(土)	40	49		
		《ワークショップ》泥でアート！	博物館地下バックヤード	7月25日(土)		中止		
		《ワークショップ》リアル変形菌フィギュア を作ろう	博物館会議室	8月1日(土)	40	34		
		《連携講座》発見♪おしゃべり鑑賞会(対 話型鑑賞会)	米子市美術館	8月8日(土)		中止		
		《アートシアター》「劇場版ムーミン谷の彗 星 パペットアニメーション」	博物館講堂	8月15日(土)	50	中止		
		《ワークショップ》「ぼん、ぼん、べたん！ ～スタンプであそぼう」	博物館会議室	8月22日(土)		中止		
		《ギャラリートーク》コレクション展Ⅲ 美術 家大辞典 近世以前編	博物館展示室	8月29日(土)		中止		
		《アートシアター》「ファブリックの女王」	博物館講堂	9月5日(土)	50	41		
		《アートシアター》「365日のシンプルライ フ」	博物館講堂	9月12日(土)	50	23		
		《アートシアター》「ザ・スクエア 思いやり の聖域」	博物館講堂	9月19日(土)	50	12		
		《スペシャルアートレクチャー》『“伝える”こ とは“きく”こと』～わかろうとする感性を 磨こう～	博物館講堂	9月26日(土)	70	67		
		《アートシアター》劇場版ムーミン谷の彗 星	博物館講堂	10月3日(土)	70	40		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
(普及講座の 続き)	(美術 の続 き)	《アートレクチャー》「フィンランドデザインの魅力」	博物館講堂	10月10日(土)	70	43
		《講演会》「フィンランドの文化に触れる」	博物館講堂	10月17日(土)	70	42
		《ワークショップ》「編み物をしながら、フィンランド流おうち時間を体験」	博物館会議室	10月17日(土)	20	20
		《スペシャルアートシアター》「かもめ食堂」	博物館講堂	10月24日(土)	70	140
		《ギャラリートーク》企画展ギャラリートーク	博物館展示室	10月31日(土)		48
		《ワークショップ》「挑戦！私もテキスタイルデザイナー」	博物館会議室,博物館展示室	11月7日(土)	15	15
		《アートセミナー》「展覧会を準備するなかで考えたこと～デザインの根底にあるものから文化施設のあり方まで」	博物館講堂	11月14日(土)	70	29
		《ワークショップ》おでかけ大辞典—新米学芸員と街ぶら—	景福寺、玄忠寺	11月21日(土)	20	10
		《トークセッション》企画展「ミュージアムとの創造的対話 03」オープニング・アーティスト・トーク	博物館展示室・博物館内	11月28日(土)		25
		《トークセッション》「文化芸術と価値創造」	倉吉サテライト会場	12月5日(土)	20	15
		《アートレクチャー》「作家亡き後に作品を再現するということ」	博物館講堂	12月12日(土)	70	20
		《特別講演会》「コレクションとアーカイヴ—松澤有・村岡三郎・原口典之を例に」	博物館講堂	12月19日(土)	70	27
		《ギャラリートーク》企画展関連企画 学芸員と巡るギャラリー・ツアー	博物館展示室,倉吉サテライト会場	12月26日(土)		55
		《スペシャル・イベント》原口典之×木野彩子「Oil, Water and Woman」	倉吉サテライト会場(倉吉市秋喜)	12月27日(日)		56
		《ワークショップ》*アートの種まきプロジェクト「美術館ができるまで」を伝えるフリーペーパーづくり:記事作成のための講座3—デザイン編(オンライン)	博物館会議室	1月16日(土)	20	10
		《ワークショップ》『図工・美術の作戦会議』みる・つくるを楽しむために	博物館展示室,博物館会議室	1月23日(土)		中止
		《ギャラリートーク》生誕100年記念「杵島隆—不滅のパイオニア精神(スピリット)」	博物館展示室	1月30日(土)		8
		《アートシアター》100人の子供たちが列車を待っている	博物館講堂	2月6日(土)	70	9
		《特別講演会》「パリ時代の岡本太郎」	博物館講堂	2月11日(木)	70	56
		《ギャラリートーク》生誕110年 岡本太郎—パリから東京へ	博物館展示室	2月13日(土)		52
		《スペシャルアートシアター》「宇宙人東京に現わる」	博物館講堂	2月20日(土)	70	62
		《アートシアター》岡本太郎関連短編映像—挙上映会	博物館講堂	2月27日(土)		115
		《アートセミナー》「岡本太郎と1950年代」	博物館講堂	3月6日(土)		42
		《ギャラリートーク2》生誕110年 岡本太郎—パリから東京へ	博物館展示室	3月13日(土)		63
		《ワークショップ》*アートの種まきプロジェクト「美術館ができるまで」を伝えるフリーペーパーづくり:公開発送作業	倉吉未来中心	3月13日(土)		15
		《スペシャル・アートシアター》『岡本太郎が見た沖縄』+アフタートーク	博物館講堂	3月20日(土)		58
		《館外普及事業》*ミュージアム・サロン11 アートと社会と未来について	喫茶ミラクル(鳥取市気高町浜村)	3月24日(水)		25
		《ギャラリートーク》コレクション展 おしゃべり鑑賞会	博物館展示室	3月27日(土)		3
		《館外普及事業》*ミュージアム・サロン12 アートと社会と未来について	西郷地区公民館(鳥取市河原町牛戸)	3月29日(月)		11

※は鳥取地域史研究会との共催

*は美術館整備事業

令和3年度普及事業の実施予定について

1 移動博物館

- ・『不滅の刀～よみがえる伯耆国の赤羽刀～』
会期：令和3年11月27日（土）～12月19日（日）
会場：北栄みらい伝承館（北栄町田井47-1）

2 移動美術館

- ・名称未定
会期：令和3年7月26日（土）～8月8日（日）
会場：キナルなんぶ（南部町法勝寺341）

3 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業（共同企画展）

- ・『木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち』（仮称）
会期：令和3年9月11日（土）～10月11日（日）
会場：日南町美術館（日南町霞785）

4 学芸課の普及事業

年間の普及講座は『展覧会・イベントのご案内』に掲載。それ以外は下記のとおり。

- ・古文書ボランティア（毎月第1土曜開催）
- ・教員のための博物館の日（7月29日（木）開催）
- ・出前展示（倉吉養護学校、気高中学校）
- ・学芸員派遣（青谷高校、岩美町中央公民館、気高中学校、浜村小学校、崎津小学校のほか、随時受付。）

5 美術振興課の普及事業

4～6月開催の普及講座はリーフレットに掲載。それ以外は下記のとおり。

- ・アーティストの世界にふれてみよう！（浜村小学校、倉吉養護学校）
- ・学芸員派遣（余子公民館、中浜公民館、米子養護学校、若葉台小学校、倉吉養護学校のほか、随時受付。）
- ・コレクション宅配便*（鳥取短期大学、宮下地区公民館、境港第二中学校、岸本中学校、三朝小学校、名和中学校）
- ・美術館バス招待事業*（9校）

*は美術振興課で詳述。

とっとりデジタルコレクションについて

1. 概要

「とっとりデジタルコレクション」とは、令和3年3月から公開している県立4館（博物館・図書館・公文書館・埋蔵文化財センター）合同のデジタルアーカイブシステムの名称である。これまで博物館単体で利用していた収蔵資料データベースのデータはすべてこちらに移行している。

美術部門のデータは現在は「博物館」の中に位置しているが、美術館開館後は「美術館」としてページが独立する（5館合同のデータベースとなる）ことになっており、管理システム上ではすでに独立している。

※システムは富士通の MusethequeV4 をベースに運用。



2. ページアクセス数の統計

令和3年3月1日から Web で公開（博物館のホームページ左側にリンクバナーを表示）。

<https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/>

アクセス集計は各館・各分野ごとに集計可能。

《アクセス数の推移》 アクセス数≠アクセスした人数。

施設	博物館																			美術館		合計		
	動物	維管束植物	コケ植物	地衣類	藻類	菌類	変形菌類	化石	鉱物	岩石	古絵図	絵葉書	航空定点写真	歴史	近現代	民俗	考古	日記	祭り・行事	地上定点写真	美術		図書	
3月	162	34	1	0	2	2	0	10	6	0	288	446	107	396	104	3	34	1,300	150	8,195	99	233	11,572	
4月	55	51	1	0	0	0	0	11	0	0	126	79	58	233	37	5	21	2,383	27	9,763	56	52	12,958	
5月	48	16	0	0	0	2	0	83	0	0	105	85	99	173	70	0	6	10,727	33	10,136	37	41	21,661	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	265	101	2	0	2	4	0	104	6	0	519	610	264	802	211	8	61	14,410	210	28,094	192	326	46,191	

・日記のアクセス数がかなり上昇（4月、5月頃にシステム変更についての問合せ多数あり）

- ・地上定点写真のアクセス数がかなり多い。
- ・美術は、従来の「おすすめ50選」と図書データのみ公開中。(5月末現在)。

3. 資料閲覧数の統計

《個別データの閲覧数の上位10位まで 期間：2021年3月1日～5月31日》

分類 動物

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00014244	オオサンショウウオ	66
2	00014012	アオウミガメ	62
3	00026510	ギフチョウ	44
4	00014266	シーラカンス	16
5	00026511	ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ)	14
6	00003501	ダイオウイカ	6
7	00026513	ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ)	6
8	00026514	ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ)	6
9	00026516	ヒメシロチョウ	6
10	00026512	ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ)	5

分類 維管束植物

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00017000	フユザンショウ	5
2	00032760	カマツカ	5
3	00046780	フユザンショウ	5
4	00016999	フユザンショウ	4
5	00027844	フユザンショウ	4
6	00030759	フユザンショウ	4
7	00031552	シロバナセンボンヤリ	4
8	00042461	ホソイノデ	3
9	00049481	アカガシ	3
10	00023024	ヤナギスズタ	2

分類 コケ植物

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00001667	アオシノブゴケ	2
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

分類 藻類

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00000186	ワカメ	1
2	00000515	タマハハキモク	1
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

分類 菌類

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00000988	クチキツノミタケ	1
2	00000989	コガネムシタンポタケ	1
3	00001002	ヒョウモンクロシメジ	1
4	00001025	コフキサルノコシカケ	1
5			
6			
7			
8			
9			
10			

分類 化石

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00002495	ウゴトウヒ	7
2	00003509	トトリムカシギンポ	5
3	00002498	ムカシタイワンスギ	4
4	00003192	ナトオルストエノキ	3
5	00001821	メソリムルス	2
6	00002088	ミヤノシタシヤモ	2
7	00002496	ウゴトウヒ	2
8	00002502	イチイヒノキ	2
9	00003169	ムカシシナカリア	2
10	00003172	サワグルミ属の未定種	2

分類 鉱物

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00000003	自然銅	3
2	00000004	自然銅	1
3	00000385	水晶(双晶)	1
4	00000394	石英	1
5			
6			
7			
8			
9			
10			

分類 古絵図

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00001	因幡国絵図	46
2	00055	伯耆国米子城絵図 嘉永元年	37
3	00031	鳥取城下全図 安政5年	29
4	00005	因幡国絵図	26
5	00029	鳥取城下之図 慶安3年以前	26
6	00032	鳥取城下町大切図 川内上	24
7	00009	因幡国絵図(高坂家伝来)	20
8	00002	伯耆国絵図	19
9	00006	伯耆国絵図	18
10	00033	鳥取城下町大切図 川内下	18

分類 絵葉書

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00152	岩井温泉 鬼の腕石 文部大臣指定ノ史蹟名	39
2	00193	因幡岡益村安徳天皇御陵(参考地)	32
3	00018	鳥取砂丘砂礫と驢馬	15
4	00022	砂漠の奇観摺鉢(鳥取驛より北方約五軒)(鳥	15
5	00016	鳥取砂丘の偉観	13
6	00025	絶景(鳥取)多鯨ヶ池より鳥取砂丘を望む	12
7	00017	鳥取砂丘摺鉢(半景)	11
8	00021	鳥取大砂丘ノ偉観(摺鉢)	9
9	00091	(鳥取)荒木又右衛門の墓(鳥取市新品治町3	9
10	00108	攘夷に備へた舊砲台跡(前方高地)(鳥取名勝	9

分類 航空定点写真

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	01753	鳥取砂丘	20
2	00172	鳥取市気高町宝木	14
3	00220	鳥取市行徳	10
4	00219	鳥取市秋里	9
5	00257	中海(大根島西)	8
6	00023	米子市街地	7
7	00199	鳥取市吉方	7
8	00174	鳥取市白兔	7
9	00205	鳥取市浜坂	6
10	00089	琴浦町上赤碕	5

分類 歴史

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	01322	家老日記新見出し 文政5年-13年	25
2	01323	家老日記見出 天保2年-3年	16
3	01325	家老日記見出 天保4年-5年	10
4	02554	家老日記(控帳) 承応4年	9
5	00001	鳥取藩史稿本 歴代世家一	8
6	01326	家老日記見出 天保6年-7年	8
7	11668	西村儀助家譜	8
8	02770	家老日記(控帳) 文久3年1月-2月	5
9	03812	京都詰家老日記 文久2年9月-3年6月26日	5
10	06794	真教寺・円相院・一行寺・恵性院・本願寺・光明寺	5

分類 民俗

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00000100	胴丸みの(管い草)	4
2	00002508	クチナワさん	2
3	00000751	因幡錠	1
4	00002410	サネモリさん	1
5			
6			
7			
8			
9			
10			

分類 日記

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	0000057168		31
2	0000000001		25
3	0000057167		20
4	0000057169		18
5	0000057171		18
6	0000057174		18
7	0000055583		17
8	0000055581		15
9	0000055584		15
10	0000000002		14

分類 地上定点写真

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	00015	鳥取駅前から若桜街道方向	167
2	00127	砂丘地の展望(砂丘リフト終点)	139
3	00380	米子駅前	126
4	00533	玉川べり	107
5	00014	鳥取大丸屋上より(鳥取駅、駅裏工業地帯、吉野川)	89
6	00042	鳥取駅、駅前広場	85
7	00006	久松山より(醇風校区、行徳、今町、千代橋、千代田)	63
8	00007	久松山より(城北団地、千代水地区、箕露町、千代田)	61
9	00018	若桜橋から県庁方面へ	61
10	00064	湖山2号墳(前方後円墳)	57

※地衣類、変形菌類、岩石はアクセスなし

【美術】

分類 美術

No.	ID	資料名	閲覧数
1	000007	秋景山水図	13
2	000408	浴衣の女	12
3	000008	クスの朝市	10
4	000010	裏大山晩秋	9
5	000065	棟梁の家族	9
6	001248	花王獣王図	9
7	000018	西洋婦人像	8
8	001226	麝香花下悠々之図	7
9	000013	神倉秋景	6
10	000362	女辯護士	6

分類 近現代

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	02689	新しい鳥取市街地図及び鳥取市大火図	7
2	00021	写真(処女会が慰問袋を作成している風景)	4
3	00437	郷土軍慰問写真帳(満州事変二周年記念皇朝)	4
4	02496	遠藤董 年賀状(岩成松輪宛)	4
5	02532	因伯叢書因幡誌 出版案内	4
6	02760	東京オリンピック・マラソン・競歩コース図	4
7	00495	(新聞)鳥取新報	3
8	01442	慶応四年の暦	3
9	01994	朝日新聞(昭和16年7月31日「野球王国を繞	3
10	02474	鳥取盲啞学校一覧表(昭和三年四月末調)	3

分類 考古

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	006183	軒丸瓦	24
2	001104	家形埴輪	12
3	000272	特殊脚付壺	10
4	000480	家形土器	6
5	006061	流水文銅鐸	6
6	002327	石棒	2
7	001992	石槍	1
8			
9			
10			

分類 祭り・行事

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	01101	宇倍神社御幸祭(例大祭神輿行幸)宇倍神社	84
2	00101	熊野神社の春祭り	20
3	00204	地蔵盆	6
4	00201	田後神社春祭り(本祭り)	5
5	00102	御當(御禱)	4
6	00302	菖蒲綱引き	4
7	10404	三仏寺炎の祭典(採灯護摩)	4
8	00106	流し糺	3
9	00401	網代神社秋祭り	3
10	08904	倭文神社(志津)の大行列	3

分類 図書

No.	管理ID	資料名	閲覧数
1	0048968	倉吉がすり 藍に生きて 福井貞子	7
2	0000001	類聚 書画落款印譜	5
3	0000212	美術手帖	5
4	0008175	中井金三	5
5	0000850	佛教藝術	4
6	5579441	公益財団法人 渡辺美術館所蔵品調査報告書	4
7	6000148	鳥取県の仏像調査報告書	4
8	0000020	前田寛治	3
9	0000518	河本緑石生誕100年記念展 緑石の生涯	3
10	0000541	中井金三と郷土美術の流れ	3

令和2年度研究成果および令和3年度調査研究計画（自然）

令和2年度研究成果（論文発表）

鳥取県立博物館研究報告 58号（2021年3月発行）

太田悠造・田村沙織・山崎英治・戸川優弥子・中野理枝

鳥取県東部沿岸および周辺海域におけるウミウシ類（予報）

概要:岩美町沿岸でスキューバダイビングによるウミウシ類の調査を行った。結果134種が確認され、うち少なくとも10種が本州日本海沿岸における初記録であった。

鶴 智之・川上 靖

鳥取県立博物館に寄贈された田村豊實チョウ類コレクション目録

概要:2016年に当館に寄贈されたチョウ類コレクションの整理が終了し、日本産種について目録を作成した。5科200種8,948個体で構成され、そのうち鳥取県内で採集されたものは5科104種4,988個体である。このうち24種が鳥取県または環境省のレッドデータブック掲載種となっており、県内のチョウ類の分布や生息状況を把握する上で大変重要な資料である。

長期計画（部門別テーマ）

鳥取県の自然史に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承するとともに、本県の自然史を解明する。

中期計画（単年度～複数年度テーマ）

地学分野

- 鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
令和3年度～5年度 担当：田邊
成果発表形態：論文、学会発表、常設展示

動物分野

- 鳥取県の昆虫相と昆虫の分類に関する調査研究
令和3年度～5年度 担当：川上・鶴 共同研究者：立田晴記（琉球大学）他
成果発表形態：論文、常設展示
- 鳥取県の動物相と動物の分類に関する調査研究
令和3年度～5年度 担当：一澤
成果発表形態：論文、常設展示
- 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
令和3年度～5年度 担当：一澤・川上・田邊・太田（自然館）
成果発表形態：論文（当館研究報告）、常設展示
- 寄贈された貝類標本コレクションの調査研究
令和3年度 担当：鶴・一澤
成果発表形態：論文（当館研究報告）

植物分野

- 鳥取県の植物相と植物の分類、および変形菌に関する調査研究
令和3年度～5年度 担当：清末 共同研究者：浅井康宏（東京歯科大学）他
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、常設展示
- 寄贈された植物標本コレクションの調査研究
令和3年度～5年度 担当：清末 共同研究者：米澤朋子（鳥取市）他
成果発表形態：論文（当館研究報告）

令和2, 3年度 人文部門調査研究テーマ

長期目標 (部門別テーマ)

鳥取県の歴史(原始古代～近現代)、民俗に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承する。

中期目標 (年度テーマ)

考古分野

- ・館蔵品の調査研究
平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし
- ・鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし
成果発表形態：展示

歴史分野

- ・県内の石造物調査研究
平成28年度～令和3年度 担当：山本 共同研究者：新鳥取県史編さん室・岡村吉彦
成果発表形態：報告書、展示
- ・山陰地方ゆかりの宸筆の研究
平成28年度～令和3年度 担当：山本 共同研究者：未定（東大史料編纂所を検討）
成果発表形態：報告書、企画展示
- ・鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究
平成28年度～令和3年度 担当：山本 共同研究者：文化財課・中森祥
成果発表形態：展示、報告書
- ・鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究
平成27年度～令和2年度 担当：大嶋、浜橋、山根、清水 共同研究者：なし
成果発表形態：研究報告
- ・鳥取県の酒造業に関する調査研究
平成28年度～令和3年度 担当：大嶋 共同研究者：なし
成果発表形態：展示（歴史の窓、口頭発表あり）
- ・鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査
令和3年度～令和4年度 担当：大嶋、福代 共同研究者：文化財関係者
- ・鳥取県内の現代資料に関する（聞き取り）調査研究
平成31年度～令和2年度 担当：福代 共同研究者：なし
成果発表形態：展示（企画展「輝いていた60's」）

民俗分野

- ・鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
平成24年度～令和4年度 担当：福代 共同研究者：藤木竜也（千葉工業大学准教授）
成果発表形態：研究報告、展示
- ・東京オリンピック関係資料の調査研究
平成31年度～令和3年度 担当：福代 共同研究者：なし
成果発表形態：展示（企画展「輝いていた60's」）

総合分野

- ・文化財の状況調査
令和2年度 三朝町中津
令和3年度 若桜町諸鹿

令和2年度調査研究実績及び令和3年度以降の調査研究取組内容（美術）

令和2年度調査研究実績

- ・鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究
令和2年度企画展（「ザ・フィンランドデザイン展」「ミュージアムとの創造的対話 vol. 3」「生誕110年 岡本太郎展」）、および令和3年度企画展（「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」「東郷青児、前田寛治と、パリゆかりの画家たち展」「小早川秋聲展」）等に関する調査研究

令和3年度以降の調査研究取組内容

総合

- ・「日本の1950年代美術についての多面的研究」
令和3年度まで 担当：尾崎
共同研究者：埼玉県立近代美術館、三重県立美術館、高知県立美術館、新潟県万代島美術館
成果発表形態：研究会、論文、展覧会
- ・「戦後の日本彫刻史におけるパブリック・モニュメントに関する調査研究」
令和6年度まで 担当：友岡 共同研究者：未定
成果発表形態：研究会、論文、セミナーor 口頭発表、展覧会

近世美術分野

- ・「土方(杉浦)家伝来資料に関する調査研究および目録化」
令和7年度まで 担当：山田 共同研究者：未定
成果発表形態：論文、展覧会

近代美術分野

- ・「鳥取県ゆかりの洋画家における西洋美術受容の実践に関する調査研究」
随時 担当：友岡 共同研究者：なし
成果発表形態：論文、セミナー、展覧会
- ・「鳥取における美術・文芸の同人に関する研究：収蔵資料を含む現存資料の調査および目録化」
令和6年度まで 担当：友岡 共同研究者：未定
成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

現代美術分野

- ・「福嶋敬恭の作品の展開に関する調査研究」
令和6年度まで 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：展覧会
- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏（立教大学）
成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

写真分野

- ・「鳥取県にゆかりのある写真家に関する継続的調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：セミナー、論文、展覧会

工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし
成果発表形態：企画展、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」
随時 担当：三浦 共同研究者：なし
成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文
- ・「山陰の絁織りに関する技法および様式に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：未定
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示
- ・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：なし
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

美術館教育分野

- ・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」
随時 担当：佐藤 共同研究者：デジタル鑑賞教育研究会
成果発表形態：展示、ワークショップ、口頭発表
- ・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」
随時 担当：山本 共同研究者：なし
成果発表形態：ワークショップ、広報物の発行
- ・「美術館の教育普及機能の有効化・充実に向けた、館内外における実践的な調査研究」
随時 担当：外村 共同研究者：未定
成果発表形態：教育普及事業、アウトリーチプログラム、教員研修、ワークショップ等

令和2年度事業報告

1 一般会計事業

区 分	期 日	事 業 内 容
総 会	7月7日	協議事項:令和元年度事業報告及び決算について 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について 役員改選(案)について 報告事項:令和2年度加盟館状況について 災害発生時における博物館資料の救援活動等実施要綱について 相互利用促進制度について そ の 他:博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(情報提供) ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため書面決裁による可決
理事会	6月	報告事項:令和2年度加盟館状況について 美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業について 災害発生時における博物館資料の救援活動等実施要綱について 相互利用促進制度について 協議事項:令和2年度事業報告(案)及び決算見込みについて 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について そ の 他:美術館整備の動向についてなど ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため書面決裁による可決
研修事業		
第1回	年度当初	*総会終了後、引き続き開催 テーマ:未定 講 師: 内 容: ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止
第2回	10月30日	会場:倉吉博物館研修室 テーマ:「被災した民俗資料の応急処置について」 講 師:国立民族学博物館教授 日高 真吾 氏 内 容:被災資料のレスキュー活動の経験から、予備知識や基本的な技術を学ぶ。
第3回	10～11月	※日本博物館協会中国支部の研修会(会場:鳥取県立博物館) テーマ1:博物館と情報発信(予定) テーマ2:国史跡鳥取城跡附太閤ヶ平と復元整備(予定) ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止
共同事業	随時	補助事業(2,3館の加盟館で行うもの) ・連携事業の補助(H22年度開始)本年度は米子市美術館と鳥取県立博物館との 展覧会「生誕100年記念 杵島隆:不滅のパイオニア精神」1件。
情報交換事業	随時	*総会、研修会開催時に限らず、予算要求時や年度当初に、学芸員等 実務担当者同士積極的な意見交換をする。
その他の事業		
	加盟館の相互利用の促進	・広報用チラシを8,000部作成した。
	外部依頼への対応等	・『関西文化の日』への参加

2 特別会計事業

区 分	事 業 内 容
(1)美術館等協力連携推進支援事業	委員会1回(書面決裁)、専門部会2回、W.G.を5回、研修会を2回開催した(見込み)。
(2)博物館資料アドバイザー派遣事業	2館に11回(50h)派遣した。

令和2年度 TMN美術館等連携にかかる委員会・研修会・事業等の開催実績

	内 容	期 日	備 考
1	TMN美術館等協力連携推進委員会第1回委員会	5月	書面開催
2	令和2年度共同企画展に向けての担当者ワーキンググループ会合	5月～9月随時	参加者:2名 (米子市美、鳥取県博)
3	TMN美術館等協力連携推進委員会第1回専門部会	8月21日	参加者:8名
4	TMN美術館等令和2年度共同企画展「生誕100年 岩宮武二」	9月6日-27日	会場:米子市美術館 来場者:861名
5	TMN美術館等令和2年度共同企画展「生誕100年 杵島隆」(鳥取展・前記)	10月14日-12月6日	会場:鳥取県立博物館 来場者:4,476名
6	TMN美術館等協力連携推進委員会第2回委員会	10月20日	参加者:8名
7	TMN美術館等令和2年度共同企画展「生誕100年 杵島隆」(米子展)	10月25日-11月29日	会場:米子市美術館 来場者:2,432名
9	TMN美術館等令和2年度共同企画展「生誕100年 杵島隆」(鳥取展・後期)	12月9日-1月31日	会場:鳥取県立博物館 来場者:1,593名
8	TMN美術館等協力連携推進委員会第2回専門部会	2月19日	参加者:8名
11	外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会1(著作権法改正関係)	3月5日	参加者:16名
13	外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会2(武具類調査研究関係)	3月26日	参加者:15名

令和3年度事業計画

1 一般会計事業

区 分	期 日	事 業 内 容
総 会	5～6月	会 場：県中部 (倉吉市) 報告事項：令和2年度加盟館状況について 美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業について 災害発生時における博物館資料の救援活動等実施要綱について 相互利用促進制度について 協議事項：令和2年度事業報告(案)及び決算見込みについて 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について そ の 他：美術館整備の動向についてなど
理事会	3月	会 場：県中部 (倉吉市) 協議事項：令和3年度事業報告、令和3年度会計決算見込みについて 令和4年度事業計画案、令和4年度予算案について
研修事業		
第1回	総会期日	※総会終了後に開催 テーマ：博物館と情報発信、あるいは博物館関係の研修報告・補助事業の情報提供 講 師：未定 内 容：未定
第2回	9～10月	会場：県中部 テーマ：「博物館の広報について(案)」 講 師：未定 内 容：SNSによる情報発信、ユーチューブ動画制作・配信など基本的な知識や技術を学ぶ。
共同事業	随時	補助事業(2,3館の加盟館で行うもの) ・連携事業の補助(H22年度開始)
その他の事業		
	加盟館の相互利用の促進	・引き続き広報用チラシを作成・印刷する。
	外部依頼への対応等	・『関西文化の日』への参加

2 特別会計事業

区 分	事 業 内 容
(1)美術館等協力連携推進支援事業	・連携計画策定後の具体的な運用 平成29年度に策定した計画の実現に向けて、「美術館等協力連携推進委員会」を組織して、計画に掲げた取組の事業化の意思決定を図るとともに、加盟館学芸員等で構成する専門部会やワーキンググループ等により、取組の具体的内容を検討・企画立案・実行する。令和4年度は日南町美術館を会場に郷土作家(日本画)の共同企画展を開催予定(別紙資料のとおり)。
(2)博物館資料アドバイザー派遣事業	・アドバイザー派遣事業【最終年】 4町(若桜・北栄・日野・江府)の博物館資料の整理・保管・展示等の改善 ※若桜町は、新規の取り組み。

令和2年度 資料収集等の状況について

1 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本年度中増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,040							8,040
動 物	27,077	10	9,032	152				36,271
植 物	55,660	5						55,665
歴 史	54,775	1	564					55,340
近現代	7,955	129	191					8,275
民 俗	4,117		3					4,120
考 古	8,292							8,292
美 術	9,771	141	77					9,989
合 計	175,687	286	9,867	152	0	0	0	185,992

2 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
動 物	シロエリオオハム剥製・骨格標本計2点、コウベモグラ剥製1点、ヒミズ頭骨標本2点、ニホンジネズミ頭骨標本2点、アブラコウモリ頭骨標本2点、ニホンマムシ骨格標本1点
植 物	変形菌レプリカ5点
歴 史	因幡国八東郡吉川村田中家文書1式
近現代	鳥取県関係パンフレット類19点、鳥取県関係繪葉書100点、戦時中のポスター類10点
美 術	中島菜刀 《芭蕉庵詩仙堂》 2点 辻晋堂 《詩人と家族(八木重吉)》他 4点 池本喜巳 《近世店屋考》ほか写真作品 97件 135点

3 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	八頭町明辺産化石標本20点【整理後に登録予定】、鳥取県産珪藻化石試料21点【登録外資料】
動 物	ネコ科動物の頭骨(一部)1点【登録外資料】、トモエガモ(雌)本剥製1点【登録外資料】、昆虫標本(チョウ類)約4,500点【整理後に登録予定】(このほか平成26年度に寄贈された昆虫標本コレクション9,032点の整理が済み、登録した)
植 物	変形菌標本809点【整理後に登録予定】
歴 史	旧鳥取藩士真田家資料ならびに真田三六収集資料290点、濱橋家文書173点、刀掛け(漆塗丸に揚羽蝶紋)1点、甲冑(当世具足・具足櫃)1点、猪股登志子家文書97点、漆塗椀(葵紋)1点、日上直当流体術免状1点
近現代	オリンピック東京大会・第4回アジア大会出場陸上競技資料111点、木製壺鈴10点、公衆電話機1点、東京オリンピック公式ポスター第2号1点、SPレコード62点、聴取無線電話施設許可書1点、第1期種痘済証1点、補充兵証書1点、鳥取駅入場券1点、鳥取県関係繪葉書2点、サンヨー電機株式会社製ワードプロセッサ1点
民 俗	和傘1点、短床犁1点
美 術	松井康成《堆線文方壺 銘「道」》 1点 伊谷賢蔵《康子》他 23点 中井金三《薔薇》 1点 山本兼文《帰って来た青年》他 6点 島田元旦《花鳥図屏風》 1件 2点 黒田稲阜《鶴亀図屏風》 1件 2点 小畑稻升《四季花鳥図屏風》 1件 2点 内海高鳳《鹿嶋図屏風》 1件 2点 越山《色紙小屏風》 1点 不詳《洛中洛外図屏風》 1件 2点 根本幽峨《井手玉川・野路玉川図屏風》 1件 2点 辻晋堂《少女の首》他 33点

美術品の購入について

令和3年6月15日
博 物 館

鳥取県美術資料収集評価委員会を開催し、美術品取得基金を活用して購入する美術資料の候補作品(8件)を決定しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 鳥取県美術資料収集評価委員会

(1) 日時 令和3年3月27日(土)午後1時30分から午後5時まで

(2) 場所 博物館 会議室

(3) 概要 各委員に候補作品の収集の可否について協議いただき、下記2のとおり購入候補作品を決定した。

2 購入候補作品

NO	分野	作家名	購入理由	作品名	制作年	材質技法 (員数)	寸法 H×W×D	購入予定価格 (税込)
1	近世 絵画	ひじかた とうれい 土方 稻嶺 1741年 ～ 1807年	【鳥取県の美術】 ● 鳥取藩の家老・荒尾志摩の家臣であった土方家に次子として生まれる。江戸で宋紫石に学びのち京都へ移る。晩年、鳥取藩に藩絵師として召し抱えられる(五人扶持)。鳥取画壇の祖とも言われ、江戸時代の鳥取の画家の中で画力・全国的な知名度ともに最も高い画家である。 ● 鑑賞価値が高く、購入機会も希少な優品。	とうほうさくず 東方朔図	江戸 時代 後期	(絹 本 幅・ 対・ 著 色)	各 117.0 × 49.5 cm	4,500 千円
2	近代 工芸	にしむら そういちろう 西村 荘一郎 1846年 ～ 1914年	【鳥取県の美術】 ● 汗入郡富長村(現大山町)出身。養子先の御来屋宿にて木象嵌師の名工・長谷川治左衛門に弟子入りし、慶應3(1868)年に独立。明治6(1873)年以降、ウィーン万博をはじめ国内外の博覧会などに出品し、受賞を重ねた。精度の高い西村の表現は木象嵌を芸術の域にまで高めたとして評価された。明治22(1889)年には日本美術協会委員となり、明治天皇に彫技を披露した。 ● 西村の作品として収集する最初の作品として妥当であり、郷土作家の調査研究の進展に寄与しうる優品。	うしぼくどうはめきすずりばこ 牛牧童嵌木硯箱	明治 期	木	25.8 × 25.8 × 4.3 cm	1,200 千円
3	近代 洋画	はせかわ としゆき 長谷川 利行 1891年 ～ 1940年	【鳥取県の美術】 ● 京都市に生まれ、上京後は小説の発表と絵画制作を並行して行う。1927年の第14回二科展にて橋牛賞を受賞。同年より1930年協会展に出品を重ねる中で前田寛治との親交を深めた。都市の風景や酒場の女性たちを独特の色彩で自由奔放に描いたその作品は、日本のフォーヴと呼ぶに相応しいもので、若い画家たちの注目を集めた。 ● 前田寛治を顕彰してきた館として、収集に相応しい優品。	ふじんぞう (まえたかんじふじんぞう) 婦人像 (前田寛治夫人像)	1937 (昭和 12) 年	油 彩・ カン ヴァ ス	33.3 × 24.1 cm	3,700 千円
4	現代 美術	はらぐち のりゆき 原口 典之 1946年 ～ 2020年	【国内外の優れた美術】 ● 神奈川県出身。1974年には「日本—伝統と現代」展(クンストハレ・デュッセルドルフ)に出品後、約1年間に渡り欧米各地に滞在する。1977年ドクメンタ6にて《オイル・プール》を発表、工業的な素材を用いたミニマルな形状を特徴とし、物質の存在に向き合う身体のリアリティから出発して場や空間の生成/変容を図る。 ● 今後立体作品の収集の足がかりとなる優品。	East No. a 9	1986 (昭和 61) 年	パ ス テ ル ・ 紙	103 × 137.7 cm	350 千円
5				East No. a 14			103 × 137 cm	350 千円

6	むらおか さぶろう 村岡 三郎 1928年 ～ 2013年	【国内外の優れた美術】 ● 大阪市の出身。自らの戦争体験をつきつめ、溶断した鉄、硫黄の結晶、酸素ボンベ、塩といった物質を素材とした重量感のある作品を制作、併せてインスタレーションも展開し、日本の現代彫刻を代表する作家として評価を得る。1990年第44回ヴェネツィア・ビエンナーレに日本代表として参加する等、国内外で発表を続けた。また滋賀大学教育学部、京都精華大学にて教鞭を執り、後進の育成にも努めた。 ● 現代美術分野のコレクションを拡充する上で上記4、5の原口典之とともに収集に値する重要な作品。	Standing Bed	1979 (昭和54) 年	鉄	192 × 93 × 115 cm	6,000 千円
7	こばやし まさと 小林 正人 1957年 ～	【国内外の優れた美術】 ● 東京都出身。東京藝術大学絵画科を卒業後、画廊にて個展を続ける。1996年にサンパウロ・ビエンナーレの日本代表になったことを契機として渡欧、2006年に帰国するまでベルギーのゲントを拠点に活動した。カンヴァスを張りながら描く独特の手法で知られ、描くことの根源に迫る制作態度を特徴とする。 ● 比較的初期のユニークな作品であり、現代美術分野のコレクションを拡充する上で収集に値する優品。	かくちから 画く力	1991 (平成3) 年	油彩・ カンヴァス	120号 (131 × 194.5 cm)	2,500 千円
8	たけかわ のぶあき 竹川 宣彰 1977年 ～	【同時代の美術の動向を示す作品】 ● 東京都出身。東京藝術大学絵画科を卒業と同時にオオタファインアーツで個展を開催。平面、立体、インスタレーションなど自在な表現方法を用い、現代の社会や政治に対する鋭い批判的態度から歴史を再検証しつつも、大らかでユーモラスな作品を制作する。第12回リヨンビエンナーレ(2013)を皮切りに国内外で数多くの展覧会に参加しながら、デモなどの路上の活動にも加わることで、社会・歴史と個人の間を問い直す新しい表現方法を、アートの枠を超えて常に模索している。 ● 2011年3月に発生した東日本大震災を契機として制作された作品シリーズに含まれる作品であり、時代を記録するというテーマに鑑みて、収集に値する優品。	ぐんらく 群落	2011 (平成23) 年	水彩・ 紙	80 × 100 cm	300 千円
計				8件		18,900 千円	

3 参考 近年の購入状況

年度	購入金額 (千円)	内 訳	
令和2年度	22,327	141点	絵画2点、彫刻4点、写真135点
令和元年度	15,496	4点	絵画4点
平成30年度	30,285	12点	絵画7点、彫刻5点
平成29年度	0	なし	ただし、受贈した興国寺書院襖絵の修復費を平成29年度と平成30年度に基金より支出
平成28年度	28,890	7点	絵画4点、彫刻3点

令和3(2021)年度購入候補作品



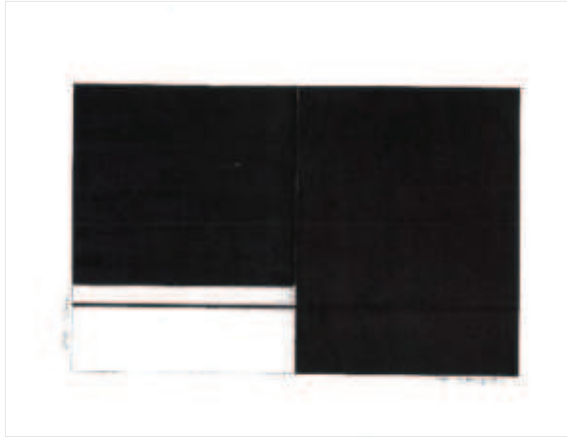
1 土方稲嶺《東方朔図》
江戸時代後期 | 絹本着色・三幅対



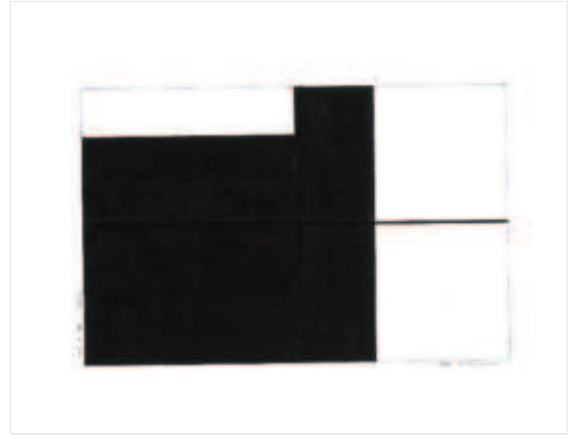
2 西村莊一郎《牛牧童嵌木硯箱》
明治初期 | 木(画像はモノクロ)



3 長谷川利行《婦人像(前田寛治夫人像)》
1937年 | 油彩・カンヴァス



4 原口典之《East No. a 9》
1986年 | パステル・紙



5 原口典之《East No. a 14》
1986年 | パステル・紙



6 村岡三郎《Standing Bed》
1979年 | 鉄



7 小林正人《画く力》
1991年 | 油彩・カンヴァス



8 竹川宣彰《群落》
2011年 | 水彩・紙